

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース



発行  
(財)第五福竜丸平和協会  
〒136 東京都江東区  
夢の島3-2  
都立第五福竜丸展示館内  
電話 03-3521-8494

東京の西多摩、秋川市の「谷小学校」で三月五日から一週間第五福竜丸の展示会が行なわれ学内全員が船に会いました。学校の平和展の催しの一つで、大石又七さんが作った船体の模型、展示館から運んだ十数枚の大小の展示パネルを展示、久保山愛吉さんの写真も大きな水爆の火球の写真もありました。一ヶ月前に四人の先生が展示館を訪ね、一時間余にわたってくまなく館内を撮影、わかりやすく編集し説明を入れたビデオも上映され、展示館のままの雰囲気も直接伝えられました。

**NHK深夜の撮影**

来館者の増加と共に報道関係者の取材も多く、NHKの取材チーフの数回にわたる展示館の撮影や、静岡放送、日本テレビ、朝日・読売・北海道新聞の報道があいつい意欲的なもので、三月九日には、NHKの取材は大石又七さんの「死の灰を背負つて」を基礎に「第五福竜丸事件再検証する」という意欲的なもので、三月九日には、暗闇の中青白い光を浴びてゆらゆられる船体、降り注ぐ死の灰、

## 核開発競争が残したもの

斗ヶ沢 秀俊

旧ソ連の核兵器削減に伴う核物質の処理が国際問題となっている。無益な核兵器開発競争が残した負の遺産である。日本はこの問題にどう対処すべきだろうか。

米国と旧ソ連の戦略核兵器削減条約(START)などが実行されると、今後それぞれ約一万五千個の核弾頭が解体される。核弾頭には高純度プルトニウム、高濃縮ウランが使われており、取り出される量はプルトニウム八十九以上、ウラン二百以上と推定される。特に緊急性があるのは、連邦崩壊と経済危機で混乱の続く旧ソ連での対策だ。核拡散防止上の課題には、①核兵器、そのものの密輸による流出阻止②核科学者・技術者の流出防止③核物質の処理の三点がある。このうち、核兵器の流出阻止はロシア政府が責任を持つしかない。核科学者の流出防止策として、米国・ロシア・ドイツ三国は「国際科学技術センター」の設置を決めた。職を失った、あるいは失う心配のある科学者・技術者を雇用し、非軍事分野の研究に貢献してもう趣旨で、日本も費用を負担する。残る問題は核物質の処理だ。

高濃縮ウランは天然ウランと混ぜて濃縮度を下げるとき、既存の原子炉の燃

料になる。一方、より危険性の高いプロトニウムの処理には、いくつかの方法が検討されている。

まず、専用の原子炉で燃やす案がある。商業的には、原子力発電所の使用済み核燃料から抽出したプルトニウムを高速増殖炉で再利用する計画が日本や欧州で進められている。これとは少し違って、プルトニウムを増殖させずに燃やすだけの高速炉だ。

次に、地下に埋める処分方法がある。この場合、掘り返して持ち去られる心配があるので、プルトニウムの純度を低め、ガラス固化して埋めることになる。

さらに、地上や地下に建設する貯蔵施設で長期間、国際管理する案もある。科学技術庁や動力炉・核燃料開発事業団は地下貯蔵センターと専用高速炉の建設を打ち出す方向で検討を進めている。貯蔵センターで国際管理し、少しずつ原子炉用の燃料に加工して、これを高速炉で燃やし発電を利用するとの内容だ。試算によると、電気出力八十万ワットの炉を建設すれば、年間二ヶ月、四十年で八十分を処理できるという。不要の核物質を処理して電力を生み出す「一石二鳥」の名案にも見えるが、そう簡単ではない。第一に、技術上の問題だ。高速増殖炉の開発は難航し、

日本の一歩先を歩むフランスの実証炉はトラブルを繰り返して運転が中断している。燃やすだけの高速炉だと構造的にはより簡素になるが、安全性を検証しながら開発すると十年以上かかるだろう。第二に、高レベル廃棄物が生み出され、その処理・管理が難しいという問題がある。

地下埋設処分についても、長期間にわたりて安定な地層があるかどうかなど、安全性が十分保証されていない。最終処分がどの方法になるにしても、当面貯蔵が必要となる。日本原子力研究所などが開発中の核物質監視システムを含めて、安全性の高い貯蔵施設を提案することが緊急に求められていると思う。大向こう受けする高速炉建設よりも意義は大きいだろう。

次回理事会は五月二十日の予定。また、六月十五日には、日比谷公園松本楼で展示館開館一周年の記念集会が開かれます。

立二十周年を迎えること、翌一九年四月はビキニ被災四十周年にあたることに関連し、いまから総合的に記念事業の企画立案にあたっています。感動して記念にとつて物が届きました。苦小牧市の榎戸克美さんが「一度は訪ねたいと思いつようやく実現した」と仕事で、印象深い紹介がありました。「船腹をなでてみた。放射能が減衰し、安全が確認されたといわれても正直なところあまり気持ちのいいものではない。木造船なのだが、とても木とは思えない。一見さらついた感じなのだが、何度もペンキを塗り重ねたために、貝殻の質

感に近い。事件から三十七年余の歳月を感じさせる歴史の『生証人』の手触り……」。

映画「福竜丸」の入場券もその後、北海道から暖かな贈り物が届きました。苦小牧市の榎戸克美さんが「一度は訪ねたいと思いつようやく実現した」と仕事で、印象深い紹介がありました。「船腹をなでてみた。放射能が減衰し、安全が確認されたといわれても正直なところあまり気持ちのいいものではない。木造船なのだが、とても木とは思えない。一見さらついた感じなのだが、何度もペンキを塗り重ねたために、貝殻の質

感に近い。事件から三十七年余の歳月を感じさせる歴史の『生証人』の手触り……」。

映画「福竜丸」の入場券もその後、北海

高校生たちは新年会を土佐清水市で開いた。造船所の片隅に放置された廃船の一隻が古い木造マグロ船であるとの情報から、学校にある放射能探知機を持って検知をはじめた。

一九八九年一月五日に幡多ゼミの高校生たちは新年会を土佐清水市で開いた。造船所の片隅に放置された廃船の一隻が古い木造マグロ船であるとの情報から、学校にいる放射能探知機を持って検知をはじめた。

船内片隅の10ヶ所程で「パリック・パリック」という音をたてて反応し、一五〇カウント程が記録された。船体周辺のバックグラウンドは六〇カウントであった。二日後に県の保健所から来て検査した結果もほぼ一致した。その後、元理化学研究所員の先生が来られ、船内検知をしてセシウム一二七、ストロンチウム九〇などを確認した。核実験でまい上った放射性物質がチリとなって船上に落ち、はじめた。

もう一年の事になりますが、『ビキニの海は忘れない』を港区で上映した時の事です。無理にお願いして大石又七さんにお話しをしていただきました。

その時大石さんは「あのビキニ事件の事が人々から忘れ去られているのが悲しい」と発言されています。それが今でも記憶に残っています。

「前代未聞」という言葉がそつくり当てはまる様な水爆実験の死の灰を浴び、日米両政府から少額な補償で解決を押しつけられ、不安な三八年間の生活を今はお続けられている大石さんの気持ちが痛いほど伝わってきました。

私自身「ビキニ水爆被災資料集」を読んでいて非常に驚いたことがあります。それはビキニ海域での米軍指定の危険水域の広さの事です。米ソ核軍拡競争の出発点ともなったこの水爆は十五メガトンの巨大な爆発であった事が記録されています。原爆と重水素化リチウム、

## とにかくにも多数の人間に 知つてもらうことが必要です

吉 村 道 興

天然ウラン二三八から構成されているこの水爆は天然ウランを使用した事で大量の放射能を排出し、八五六隻の漁船、日本漁業に大きな被害を与えました。

米軍は当初の危険水域を拡大し、およそ北緯十二度から北に向って半円状に二十度付近まで、東経百五十六度から東に百七十二度までの広大な海域を指定しました。私はこの面積を関東地方に重ね合せて見ましたが、関東地方一都六県はいうに及ばずほとんど日本列島全体が含まれてしまうほどの広大な海域である事に気付きました。

平和運動の中にも、被爆者援護等々さまざまな分野の運動がありますが、第五福竜丸保存も核軍縮法制定運動、原水爆禁止運動、被爆建造物保存運動、基地撤去運動、ビキニ事件」はこれから先も大きな研究対象として浮び上ってくるよ

の高校生たちは新年会を土佐清水市で開いた。造船所の片隅に放置された廃船の一隻が古い木造マグロ船であるとの情報から、学校にいる放射能探知機を持って検知をはじめた。

船内片隅の10ヶ所程で「パリック・パリック」という音をたてて反応し、一五〇カウント程が記録された。船体周辺のバックグラウンドは六〇カウントであった。二日後に県の保健所から来て検査した結果もほぼ一致した。その後、元理化学研究所員の先生が来られ、船内検知をしてセシウム一二七、ストロンチウム九〇などを確認した。核実験でまい上った放射性物質がチリとなって船上に落ち、はじめた。

この「住吉丸」の発見がきっかけとなつて、室戸の被災船のその後を追跡した。第二幸成丸はスクレッパーに、第五幸成丸は北洋船と

古い日本のマグロ船が廃船解体を行なつて、釜山に向つた。ソウルでは、韓国最初のマグロ船・第一号指南号元船長・尹氏(五洋水産元社長)とのコンタクトがとれた。釜山港では岸に繋いだ廃船から順番に渡つてブリッジの前に張りつけた造船プレートを捲した。数隻の日本のマグロ船が見つかって造船年は一九六〇年代後半のものだった。もっと古い船に乗りうつろうとしたところ、解体作業員に止められ

二回目は、一〇月に、ソウルから釜山に向つた。ソウルでは、韓国最初のマグロ船・第一号指南号元船長・尹氏(五洋水産元社長)とのコンタクトがとれた。釜山港では岸に繋いだ廃船から順番に渡つてブリッジの前に張りつけた造船プレートを捲した。数隻の日本のマグロ船が見つかって造船年は一九六〇年代後半のものだった。もっと古い船に乗りうつろうとしたところ、解体作業員に止められ

二回目は、一〇月に、ソウルから釜山に向つた。ソウルでは、韓国最初のマグロ船・第一号指南号元船長・尹氏(五洋水産元社長)とのコンタクトがとれた。釜山港では岸に繋いだ廃船から順番に渡つてブリッジの前に張りつけた造船プレートを捲した。数隻の日本のマグロ船が見つかって造船年は一九六〇年代後半のものだった。もっと古い船に乗りうつろうとしたところ、解体作業員に止められ

二回目は、一〇月に、ソウルから釜山に向つた。ソウルでは、韓国最初のマグロ船・第一号指南号元船長・尹氏(五洋水産元社長)とのコンタクトがとれた。釜山港では岸に繋いだ廃船から順番に渡つてブリッジの前に張りつけた造船プレートを捲した。数隻の日本のマグロ船が見つかって造船年は一九六〇年代後半のものだった。もっと古い船に乗りうつろうとしたところ、解体作業員に止められ

## ビキニの海は 忘れない⑥ 韓国のマグロ船

山 下 正 寿

そのホコリを船員が靴や服などで機関室にもちこんだ時油について固定化されたものだろうと説明された。

船は徳島県船籍の「住吉丸」で主に沖縄など近海操業のマグロ船であった。ビキニ事件の年に造られ一九六二年から三〇年も造船所に放置されたためすでに大半が朽ちており、ついに解体された。やむを得ず、記録化し、船体の一部を保存した。

調査団は、一九九一年に二回韓国の釜山とソウルを訪ねた。

一回目は八月に釜山中心に調査をした。釜山市庁舎の水産課では、マグロ漁船名簿があり日本から転売された船も記載されていたが一九六七年以降のものだった。それ以前は正規の売買がされていず闇を守られた。

この「住吉丸」の発見がきっかけとなつて、室戸の被災船のその後を追跡した。第二幸成丸はスクレッパーに、第五幸成丸は北洋船と



「住吉丸」の調査、土佐清水市

なって事故でオホーツク海に沈没していた。何隻かの被災船がビキニ事件後韓国や台湾に売られていることがわかった。

調査団は、一九九一年に二回韓国の釜山とソウルを訪ねた。

一回目は八月に釜山中心に調査をした。釜山市庁舎の水産課では、マグロ漁船名簿があり日本から転売された船も記載されていたが一九六七年以降のものだった。それ以前は正規の売買がされていず闇を守られた。

この「住吉丸」の発見がきっかけとなつて、室戸の被災船のその後を追跡した。第二幸成丸はスクレッパーに、第五幸成丸は北洋船と

なって事故でオホーツク海に沈没していた。何隻かの被災船がビキニ事件後韓国や台湾に売られていることがわかった。

調査団は、一九九一年に二回韓国の釜山とソウルを訪ねた。

一回目は八月に釜山中心に調査をした。釜山市庁舎の水産課では、マグロ漁船名簿があり日本から転売された船も記載されていたが一九六七年以降のものだった。それ以前は正規の売買がされていず闇を守られた。

この「住吉丸」の発見がきっかけとなつて、室戸の被災船のその後を追跡した。第二幸成丸はスクレッパーに、第五幸成丸は北洋船と

なって事故でオホーツク海に沈没していた。何隻かの被災船がビキニ事件後韓国や台湾に売られていることがわかった。

調査団は、一九九一年に二回韓国の釜山とソウルを訪ねた。

一回目は八月に釜山中心に調査をした。釜山市庁舎の水産課では、マグロ漁船名簿があり日本から転売された船も記載されていたが一九六七年以降のものだった。それ以前は正規の売買がされていず闇を守られた。

この「住吉丸」の発見がきっかけとなつて、室戸の被災船のその後を追跡した。第二幸成丸はスクレッパーに、第五幸成丸は北洋船と

なって事故でオホーツク海に沈没していた。何隻かの被災船がビキニ事件後韓国や台湾に売られていることがわかった。

調査団は、一九九一年に二回韓国の釜山とソウルを訪ねた。

一回目は八月に釜山中心に調査をした。釜山市庁舎の水産課では、マグロ漁船名簿があり日本から転売された船も記載されていたが一九六七年以降のものだった。それ以前は正規の売買がされてizu闇を守られた。

この「住吉丸」の発見がきっかけとなつて、室戸の被災船のその後を追跡した。第二幸成丸はスクレッパーに、第五幸成丸は北洋船と

なって事故でオホーツク海に沈没していた。何隻かの被災船がビキニ事件後韓国や台湾に売られていることがわかった。

調査団は、一九九一年に二回韓国の釜山とソウルを訪ねた。